

研究種目：基盤研究（C）

研究期間：2006～2009

課題番号：18520514

研究課題名（和文） 日本中世における紛争と秩序形成に関する研究—山野紛争関係史料の収集と体系化—

研究課題名（英文） A study about the dispute and the order formation in the Japanese Middle Ages

研究代表者

小林 一岳 (KOBAYASHI KAZUTAKE)

明星大学・人文学部・教授

研究者番号：20298061

研究分野：人文学

科研費の分科・細目：日本史

キーワード：紛争 山野 秩序

1. 研究計画の概要

本研究の目的は、中世の紛争の基礎構造を解明することにある。中世の紛争は、村レベルから存在し、特に山野河海の資源をめぐるものとして生じた。

本研究においては、このような山野資源をめぐる紛争関係史料について、11世紀から16世紀までを4つに時期区分した上で、できる限り網羅的に収集・体系化し、公開可能なデータベースを作成することを最大の目的とする。そのうえで、いくつかの重要な事例について、史料検討やフィールドワークを通じて分析研究をすすめ、山野紛争とそれを通じての秩序形成という切り口から、日本中世社会の段階的特質について明らかにしたい。具体的には中世社会を4つの時期に区分して検討を進めていく。Ⅰ平安～鎌倉前期、Ⅱ鎌倉後期～南北朝期、Ⅲ室町期、Ⅳ戦国期の4つの時期区分である。それぞれの時期は、Ⅰ領域型荘園の形成期、Ⅱ領域型荘園の動揺期、Ⅲ荘園の再編と惣村の形成期、Ⅳ荘園の崩壊と領域権力の形成期に対応している。これらの時期区分に応じて、山野紛争関係史料を網羅的に収集し、いくつかの特徴的な紛争事例について、フィールドワークも含めて集中的に分析・研究を行うことで、それぞれの時期の山野紛争と秩序形成の特色を明らかにすることができる。と考える。

2. 研究の進捗状況

山野紛争関係史料の検索・収集については、現在のところまで、南北朝期までの史料検索については終了し、現在データベースの作成中である。鎌倉期までのデータベースについては、7月末までに完成する予定である。室

町期～戦国期については、全国を6つのブロックにわけ、連携研究者・研究協力者で分担して史料検索を行っている。現在までに中部地域については終了しているが、それ以外の地域については7月末までに検索を終了する予定である。

フィールドワークとしては、鎌倉期の山野紛争関係史料が多く残される山城国禪定寺・曾束荘地域において、禪定寺文書や禪定寺区有文書の調査・目録作成を行い、紛争地域の地名の聞き取りなどを実施した。また室町期の代表的な紛争地域である山城国炭山周辺地域についても村の復元を目的とする絵図の収集や、それをもとにしたフィールドワークを実施している。

その結果、両地域が中世の大都市である京都近郊地域として、エネルギー資源の供給地として、紛争原因などについての共通性を持つと同時に、惣村の成立に伴う、鎌倉期と室町期の紛争及び秩序形成の差異も浮かび上がってきた。これは従来にはない研究成果であると思われる。

研究成果としては、研究代表者の小林が、鎌倉後期の禪定寺と曾束荘紛争の基礎的な分析を行い、論文を執筆している。その他、連携研究者の蔵持・酒井・則竹も中世の紛争についての論文を執筆し、後述の研究成果図書の中で発表している。

3. 現在までの達成度

②おおむね順調に進展している。

史料収集・検索については、南北朝期までは順調に進んでいる。ただ戦国期については参照すべき史料集の数が多いため、なお作業途中である。モデルケースとなる紛争地帯の

フィールドワークを通じての分析・研究については、山城国禪定寺・炭山地域を中心に近世文書も含めての文書調査・整理が進展し、また絵図の調査も行われ、研究成果も発表されている。

4. 今後の研究の推進方策

今後は、検索・収集した史料のデータベース化と分析研究を進めるつもりである。現在鎌倉期までのデータベースがほぼ完成し、そこでは、紛争地帯に京都などの大都市周辺という一種の偏りがあること、平安～鎌倉前期と鎌倉後期～南北朝期では山野紛争の性格や秩序形成の方法が少し異なっている点などが明らかになりつつある。今後は室町～戦国期まで含めて時期的な特質について分析・研究を行い、報告書を作成するつもりである。またフィールドワークを行った、禪定寺・炭山地域は互いに地域的に関係を持ち、京都近郊の一大エネルギー資源地帯であるという共通点を持つことが明らかになってきた。しかも、どちらも撰閲家と深い関係を持っている。これらの地域に焦点をあて、基礎的なデータについては報告書に盛り込むとともに、分析・研究の成果については、論文集により公表するつもりである。

5. 代表的な研究成果

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

〔雑誌論文〕(計0件)

〔学会発表〕(計0件)

〔図書〕(計1件)

蔵持重裕編『中世の紛争と地域社会』、岩田書院、2009年、396p

〔産業財産権〕

○出願状況(計0件)

○取得状況(計0件)

〔その他〕

なし